

# 少年会 笠岡団 サマーキャンプ

## 第7回目の今年も大人気

### —— さて、その秘密は？



今年で第七回目となる少年会笠岡団（岡本久善団長）の夏季練成会（キャンプ）は、島根県浜田市にある石見海浜公園キャンプ場で八月二十二日より二泊三日の日程で行なわれました。出発に際し大教会長様より「自然は自分のものではなく、自分達はその一部である事を勉強して頂きたい。」とお言葉を頂き、昨今、自然を軽視した為に起こる事故をよく見聞き致しますが改めて心引き締め、今年のサマーキャンプも無事つとめさせて頂けますよう、親神様にお願ひ申し上げ大教会を出発しました。少年会員は大型観光バスにそしてスタッフはマイクロバスと資材を満載にしたトラック計三台に分乗して

一路島根県の浜田に向い、午後一時頃にはキャンプ場に到着、島根隊の参加者と合流し、入村式を行いました。中国地方随一の海水浴場を持つこのキャンプ場は、この時期になっても多くの若者達で賑わっていました。オリエンテーション後、スタッフは資材の搬入に汗を流し、今回大小十棟のキャンピン（ロッジ）に入るキャンパスは、テントの設営もないので早速海水浴を楽しみました。夕食はバーベキューです。キャンプも七回目ともなると、資材もかなり充実し、各班にバーベキューセットを支給できるまでになりました。カウンセラーの適切な指導のもと、おいしい夕食をいただき、夜に

# かさおか

発行所  
天理教笠岡大教会

かさおか編集掛  
笠岡市用之江377  
郵便番号714-0066  
(0865)  
電話 66-1311

## 笠岡大教会 創立110周年

三年千日スローガン

論達を実践し、をやの理を戴こう

本年の実践項目

つとめに専心

百万軒にをいがけ

全教会で陽気ぐらし講座開催



最近のキャンプ場は設備も充実？

は浜辺で花火大会を行ない楽しいひとときを過ごしました。二日目朝砂浜のゴミひろいのきしん、朝食は慣れないながら飯盒で、上手にご飯を炊く事が出来ました。朝食の後片付けが終わると今日は

一日海水浴です。どこ迄も続く美しい砂浜、そしてすぎ通る様なきれいな海、遠浅で遊ぶのに適度な波に、皆時間の経つのも忘れ、思う存分浜田の海を満喫しました。夕食の手巻き寿司は大好評で、各班

に配られた食材では足りない程の食欲、スタッフも追加の注文に追われていました。夕食後全員で近くにある温泉に入り一日の疲れを取る事が出来ました。水平線の波間に、等

間隔に点灯するイカ釣船の美しい漁火を眺めながら二日目の夜も無事更けてゆきました。三日目、キャンパスは撤収の準備にかかり、スタッフは朝食と昼食の弁当作り、全員で手際よく取り組み、朝食後、今回のキャンプのもう一つの目玉、大きな楽しみの一つであります、アクアス（水族館）の見学に行きました。ここは中国地方有数の観光スポット、祭日には観光バス、自家用車など長蛇の列が出来ます。その中でも白イルカのショーは大変な人気で、



参加者全員大満足で良い思い出となりました。昼食の弁当を食べた後浜田を出発、午后三時には無事大会に到着しました。今回初めて観光バスの送迎をして頂き、もったいないサマーキャンプを味わわせて頂きましたが、このキャンプを通して、お互いが助け合う事の大切さを、しっかりと学ばせて頂いたと思います。三日間すばらしい天候に恵まれ、事故もなく無事終えさせて頂きました事、御協力下さいました皆様、心より御礼申し上げます。尚、参加者は、少年会員四十名、スタッフ三十一名、計七十一名でした。

百万軒にをいがけ  
活動を通して

垣根のない教会を目指して

坪生分教会 掛谷 宣和

先般、『かさおか』編集掛より、「貴教会の『百万軒にをいがけ』実動録」というテーマで原稿依頼を受け、陽気くらし講座の模様を執筆しようと思いましたが、今回は、当教会で永年続けておる『教会お泊まり会』の事を書かせて頂きます。八月十一日夕刻、大きな荷物を持った子供達が、教会の門をくぐります。午後五時、二十数名の子供達と、荷物で、小さな参拝場は一杯です。隣

の小さな台所でも、七、八名の方が食事の準備のひのきしんをして下さっています。

昭和四十九年、「教会お泊まり会」をという声を受け、第一回のお泊まり会を実施させて頂き、今年も数えて二十七回になりました。当初は何をすればよいかも分からず、おつとめとお話、後は教会に泊まるというシンプルな時もありました。又私達兄弟が皆、おぢばの学校へ行き、会長様が一人で、切り盛りをするという時期もありました。近年は、私自身も夏休み中が大変忙しく、数年前、日が決まらぬまま、夏休みも終えそうになり、入れ替わり来て泊まる、おいやめいが泊まった事を「お泊まり会」とし、実施した事にしようと思案な気持ちに流れた時、近所の子供達が「いつお泊まり会をするの」と尋ねてくれ、急ぎよ八月の二十九、三〇で実施した事もありました。

夏休みが近くなると、「いつするんなー」「何をするんなー」と尋ねてくれ、近所の大きな子供達が内容を検討し、自分達で配役も決めてくれる事が、ここ数年です。

今年も例に漏れず、内容は、夕づとめ、お話、夕食、花火、ゲーム(例年も肝だめしだったので



すが直前に雨が降り、室内オリンピックをしまった、入浴そして全員で神殿でござ寝。翌朝、ラジオ体操、朝づとめ、ひのきしん、朝食。そして今年も天神峽へ川遊びに行き、午后四時解散しました。

親神様、教祖の御守護を頂き、毎年こうして無事に実施させて頂ける事は大変嬉しい事です。当然、信者さんやその子供達も、参加し、ひのきしんもして下さるのですが、未信者の近所の子供達が積極的に参加してくれ、食事の準備や引率にその子の親が、積極的に参加して下さる事が、大変嬉しい、喜ばしい事です。

今年も少年会員二十一名、育成会員十七名計三十八名の参加でした。  
お泊まり会が終わっても、大人三人暮らしの教会へ、「おばちゃんかき水して。」と遠慮なく教会へ上がってくれ、「おつさん何しよるんなー」と声を掛けてくれる。こういう近所と垣根のない教会でありたいと私は常々思っておりま。

七月二日に陽気ぐらし講座を開催したところ、八十六名の参加があり、内未信者が五十二名、近

所の方々が大勢集まって下さったという事を大変嬉しく思っております。

編集部より……「百万軒にいがけ」についての原稿をお願いしたところ、「教会お泊まり会」や「陽気ぐらし講座」についての原稿が返ってきました。

結果として現われてきたことに対する喜びの声として受け取らせて頂きますが、日頃から「百万軒にいがけ」の上に丹精しておられる教会の方々のお姿が目につかびます。

# 心の通ひ路 Leader's Min-Eggy

## 地域の人の日頃の関わりの中

福芦分教会長 竹本 和道

先日、長男が所属するサッカークラブの役員の方から、どこか天理教の教会で宿泊させて頂ける所がないでしょうかと訪ねられた。

二日間遠征試合で、他県まで行かねばならなくなつた。少ない会費で運営しているサッカークラブなので、ホテル・旅館へ宿泊するまでの宿泊費は出せないで、何とか安く宿泊できることができないかと思ひ訪ねられたのである。



そのお陰で「来年もお願いできませんか」言われ、次の年もさせていたいただきました。これも大きなにいがけになりましたと思うのです。にいがけは、自分がその気に

日頃から妻が保護者の方に、お道の話や教会の実状などを話している、何とかならないかと思われたのであろう。にいがけのチャンスとばかりに、出来ることならばと思ひ、ある人を通して試合会場の近くの教会などをお願いしてみた。快く受けて下さったのではあるが、最終的にはこちらの都合で実現はしなかった。

以前、私の教会である保育所の『お泊まり保育』を受けさせていただいた時があります。保護者をはじめ、先生たちも未信の方たちばかりではありません。天理教の教会がどんな所なのか、またどんな話をされるのか興味津々であったと思うのであります。夕づとめにも参拝していただき、一言の取り次ぎもさせていただきました。

教祖は「この家へやって来る者に、喜ばさずには一人もかえされん」と言われました。喜んでいただけるといふ心を使わせていただきましたが、

なりさえすれば、千種万態に存在しているように思います。実動の年と言われる今、私たちでも出来るにいがけは日頃の地域の人の関わりの中に沢山あるように思います。

特に我々のようなお道に、教会に専従する者は、地域の人の関わりを大事にしたいものです。

## 旬の理を頂く

稲芳布教所長 三宅 八寿夫

布教推進要員として勤めさせて頂いた頃のこと。ねり合いの後、その会長様から、あなたは神様から与えて頂いている特技の書道をなぜお道の上にかかさないのですかと言われた。その事が心にかかり悶々としていた時、前真柱様が医学博士の先生に「今、単独布教に出るよりも医学を通して人様のお役に立ちなさい」と悟された講演で話された。自分もそうさせて頂こうとそれ以来迷いがなくなつた。

「何時でも何所でも誰にでも」をモットーに書道を通して用木のつとめを果させて頂こうと定めた。今思えば修養科生も別席者のご守護も書道を通してのご縁である。そのご縁の一つを紹介させて頂きます。

二才の「C君」が体中に血うみで目も見えぬほどで食事ままならないアトピー性皮膚炎で入院している、どうすれば助かりますかとの相談を受けた。丁度、笠岡大教会創立百十周年までの三年

千日の第一年度の時旬である。「身上かりもの」、「十全の御守護の理」、又病は人生を好転するチャンスである等々お話をさせて頂き別席を運んで頂くことになった。それから一ヶ月目には退院出来るまでになった。六席目を運ぶころには目をみはる程のご守護を頂いた。喜んで日参・掃除と勇んで勤めている。この八月にはおさづけの理を拝戴し、C君の身上はすっかりご守護を頂いた。時旬の理の有難さを痛感している。

又、中学生「M君」の家庭内暴力の悩の相談を受けた。毎日くすさんだ言動を聞きながら胸のつまる思いがしてくる。その話を聞きながら、亡母の事を思い出していた。稲瀬分教会初代会長(亡母)の自分に厳しく道一条に命を捧げどんな中も勇んで通られた道をあらためて深く感じつつ、お話をさせて頂いた。上級の初代会長様(北川種治郎先生)のお仕込みによつて人生の転機となつた言葉がある。「三宅さん、今、八方ふさがりでも天はまるあきである。天から助けの綱がさがっている。なぜそれをつかもうとしないのか。」「今日から死ぬ」と言うお仕込みに応えて通り切つた亡母を思いつお話をさせて頂いた。涙しながら心を定めて頂いた。今が正念場である。今世上でも十六・七才の子供の犯罪が多発している。お稽古に来る教師も学校も大変な時代ですと言われる。まさに「夫婦、親子の絆の弱まりは社会の基盤を揺がしている。」との論達の真意を肝に銘じ行動でお応えさせて頂く時旬であると痛感している。

## 婦人会委員部長後継者講習会

委員部長後継者講習会も、毎年欠かす事なく勤めさせて頂いております。今年も年間行事の中で発表し、日が近づくにつれ、後継者へハガキにて案内をさせて頂きましたが、平常日とあってか、参加下さった方が半数であった事は少々残念でした。現在世上にあっては、大変ショッキングな出来事が多く、お道の常識を伝える事のむつかしさを、お互に味わっておりますが、次代を担う若い方々の成人の上にご期待下さる婦人会長様のお心に添わせて頂かねば。と先ず支部長様より、一時間をかけて、若さゆえの立場の悩み、心の迷いなど、ひながたと照し合わせて納得のゆく様お話し頂きました。夕勤め後、三班に分かれ、お聞かせ頂いたお話を中心に、ねり合いをさせて頂きました。翌日朝づとめ、朝食、ひのきしんをさせて頂き、八時四十五分より、大教会長様から「理。」とは、という点について（教会の理、おつとめの理、理づくり）等々、いくつも例を出し、解り易くお聞かせ頂き、改めて心の置き処をお教え頂きました。その後、パンフレットを片手にハイエースに分乗し、大谷台団地へと向かい、若い委員の奥様達と暑い中、明るく勇んでおつとめ下さいました。帰会后、反省会等含めて発表して頂きましたが、にをいがけの大切さを理解はしているが、現実には家事、育児に追われている日々が多く、今回同志、の講習会で立場を同じくする者にをいがけが出来た事を今後のステップ台にしたいという人、又楽々ではない中、運んでおられる仲間へ勇気づけられたという人もおられました。昼食は委員の奥様方より、美しく飾りつけられ、盛り込まれたご馳走に、一同終始賑やかな一時でした。この形は初めての試みですが大変好評でした。大教会の数多い行事の中を、やっと開催出来た講習会でしたが、お道の後継者の中

でも特に大切な立場の人達の講習会である事を思いますと、一人でも多く参加して頂きやすい日時を選ぶ事、又各委員部長さん方の強い後押しを頂きたいものと痛感いたします。婦人会行事も数を増す昨今ですが、委員さん一人一人が行事に参加し、自分の事としてひのきしんをさせて頂き、その中から自らも、又委員部もお育て頂ける事と思います。最後に託児係の委員さん、陰のおつとめ御苦労様でございました。



# 修養科修了生の声

## 私の修養科

稲倉分教会 田中久雄

修養科ってなんだろう。3ヶ月間なにをするんだろう。今年5月退職中に突然義理の妹の入院手術、手術後の経過が芳しくなく、毎日検査の日々と大変な身上了した。

そんな時妹が私に突然修養科行きを勧めたので。「兄さんが修養科に行ってくれたら身上が絶対に治る」と言うのです。

私の家内は、布教所生れですからこの話に大賛成。今なら行ける条件がそろっている。これもみな親神様のでびぎだと言うのです。また色々な事の気分の転換期なので行ってきたらと勧めるので、5月中旬修養科を決心しました。

順序参拝の時、稲倉分教会で、なにも考えず修養科中はひのきしんに励みなさい、との一言でした。なにも考えず3ヶ月間ひのきしんに勤めることと、毎日おねがい勤めに神殿に行く事を心定めて、5月下旬の修養科入学志願者は今回十三人の同期生がいた。

不安な修養科生活が始まりました。毎日が色々

な体験で世間では経験できないような事ばかりでした。そんな時6月上旬、妹からの電話で検査の結果、異常なしとの事、私自身びつくり、これが神様のご守護なのかと深く感動しました。

修養科では、クラスの約

半分が身上者との事、残り二十五人中九人が笠岡の同期生、修養科でのひのきしんに大半の人がかり出される状態で反面詰所のひのきしんが思うようにならない日々でした。修養科へは毎日猛暑の中片道四十分、若い修養科生三人が交替で車椅子を押す姿は、猛暑の中さすががしさを感ずる思いで、ほかの修養科生にも感激を与えたにちがいないと思います。猛暑の日々が続くなか、こどもおぢばがえりの大イベントになりました。教会本部内のあちらこちらで練習する鼓笛の子供たち、全身汗だらけの姿のなかの澄みきった瞳には、涙が出るほどの感激でした。また各イベント会場を作った各ひのきしん隊の人たちの苦勞も知ってほしいと思いました。

修養科生活は、教室と詰所だけの生活以外にいろいろな事が勉強できました。少年会の講習、手話、点訳、朗読などや自発的な回廊拭き、おつとめの鳴物の研修など、自発的な気持さえあれば時間が少ない生活になります。



私自身の修養科生活も、長く思えた3ヶ月間も、8月末になると、もう3ヵ月たったのと思います。3ヶ月間修養科で習った事、今の勇んだこの気持、天理教教典には次の様に書かれています。

「一度は、教に感激して信仰に志しても、やがて喜び勇めなくなることもあれば、折角、たすけて頂いても、又も、身上のさわりや事情のもつれで、心が動揺する時もある。」と書かれてあります。

己が心を倒さず喜び勇んだ心をわすれず、教会においては、理の親に尽す気持をわすれず、つとめたいと思います。最後にみかぐらうたよりよくをわすれてひのきしん  
これが大いゝちこえとなる(十一下り目4)

## ふたこと みこと

戸別訪問手記より

① H 12. 7. 13 (木) 10:00 ~ 11:20 家の中は暑い。暑いと思ったが外へ出るとつす曇りで割と涼しい。

② 町四丁目 病院裏 署の筋、三丁目 給食工場北一軒迄。

## 八月月次祭祭文

これの笠岡大教会の神床にお鎮まり下さいます 親神天理王命の御前に 会長 上原理一慎しんで申し上げます 親神様の子供かわいゝ一条の親心によります 限りない御守護のまに 日々は 結構に恙なくお連れ通り下さいます 事は 誠に有難い極みでございます 特におちばでの子供おちば帰りや学生生徒修養会高校の部 大教会での英語講習会等 事故災難も無く 結構にお連れ通り頂いた事は 勿論 梅雨に雨が降らず 水不足の心配もありましたが 子供おちば帰り直前にしっかりと雨を降らせて下さったお陰によりまして 水の心配もなく おちばの夏を楽しませて頂けました事は 誠に有難い事と 心よりお礼を申し上げる次第でございます 私共は 生かされている喜びと共に 数々の御守護に御礼申し上げたいと 恩報しを念じて たすけ一条の上に勤め励ませて頂いておりますが その中にも 今日の吉日は お許し下さった御祭り日でございますので 只今からおつとめ奉仕者一同 喜び心も 一人に 陽気に勇んで 座りづとめてをどりを つとめて 八月の月次祭を執り行わせて頂きます 御前には 理に繋がる道の子供達が 残暑厳しき中にも 関わりませす 今日の日を楽しみに 寄り集つてくれております 皆の真実の状をご覧下さいまして 親神様にも お勇み下さいますようお願い申し上げます

さて 現代の世上の姿は 犯罪の日常化及び凶悪化が ますますすすんで いるように思われ まさに「欲にきりない泥水や」の姿であろうと思つと共に これこそ まさしく 真実の親心がわからなくなっている証拠のように思われます それだけに 余計私達よふぼくの使命の重大さを痛感する次第でございます 有難いことに ちょうど来月九月は 本部より にをいがけ強調の月とのお打ち出しを頂いており 月末には 全教一斉にをいがけデーも実施されます 勿論 笠岡に於いては 百万軒にをいがけやおたすけを通して 少しでも 真実の親心を伝えるべく 日々月々勤めさせて頂いておりますが 九月には その思いをより強めて 勤めさせて 頂く覚悟でございます 又 世上でも ボランティアや募金等を通して 助け合いの姿も見られますが よふぼくには よふぼくにしか出来ない 助け合いの姿があり にをいがけおたすけこそ その姿であるとの 思いを深めて ますく たすけ一条の上に 邁進させて 頂く所存でございます

何卒 親神様には よふぼくとしての 自覚を高めたすけ一条の親心に 添い切る 皆の 真実の心をお受け取り下さいます 万たすけの上に 自由の御守護を賜り 真実の親を知り 一列兄弟の理に 目覚める人が 弥増して お望み下さる 陽気ぐらしの世の状が 一日も早く 実現しますよう お導きの程を 一同と共に 慎んで お願い申し上げます

### ③ 配布数13部

④ 今日は子供の身上から考えると ころあつて 別途チラシ配布はしているが、昨日、再び戸別訪問をさせて頂くことと心定めると不思議にも見るく 元気に、食事の方も「これ一つしか無いけど食べてもいい？」という位元にもどった。さらに戸別訪問の仕方を、あらかとりよう<sup>198</sup>に二宮勝己先生が執筆されていた「今日一步を踏み出すために」の中に『にをいがけ、おたすけという点ではお道でも色々な考えがあると思います が「人間を造つた親がおられるのや、名前は天理王命と言いますのや」と伝える。それを言えなかつたら親神様が働けないのです。布教なんて人間の力でとても一步なりとも進めません。親神様、教祖の働きあつて一步が進めるはずです。』とその様に伝えて廻らせて頂いたが何か調子が良い。相手の受取り方が違つ。手ごたえ充分であつた。ちよつと人間思案なら、それがどうしたと言われそうなの、相手が素直に聞いて下さるのには驚いた。

皆様もためしてみして下さい。

**笠岡分会委員長 田中隆之君「会員代表の決意表明」****第76回 青年会総会**

- 日時 平成12年10月27日(金) 午前10:00～
- 場所 本部神殿中庭
- 内容 青年会長様お言葉、会員代表決意表明(笠岡分会委員長)、  
年間活動報告ほか
- ※青年会長様よりこの一年間の活動の柱となるお言葉を頂戴いたします。各分会から一人でも多くの会員にご参加いただき、ちばの理をいただいて帰らせていただきますでしょう。
- 対象 各分会委員長・全青年会員・その他どなたでも結構です

**青年会 ひのきしん隊 入隊案内**

- 期間 平成12年11月1日～24日  
(10月31日に大教会を出発いたします)
- 宿舎 第百母屋(ひのきしん隊宿舎)
- 内容 ひのきしんだけではなく、鳴り物勉強・講話・にをいかけ等様々な内容の教理修得の場があります。
- 対象 経験者・未経験者、未信者の方、その他どなたでも結構です。  
(身体の不自由な方でも、気軽にご相談ください)

**第77回 女子青年大会**

婦人会笠岡支部女子青年部

- 日時 平成12年11月3日(文化の日) 午前8時 受付
- 場所 笠岡大教会
- 内容 12下りおつとめまなび、式典、感話、アトラクション  
※準備の都合もありますので、参加ご希望の方は、所属教会へお申し込みください。